





## 株式会社タカミヤ IRセミナー

東京証券取引所 プライム市場上場  
証券コード：2445

2023/9/27 Page 2

皆様、本日は当社のIRセミナーにご参加いただきまして、誠にありがとうございます。  
ございます。

早速ではございますが、当社、株式会社タカミヤの会社説明をさせていただきます。



登壇者



## 安田秀樹

取締役常務執行役員

経営戦略本部長

Takamiya Lab. 副本部長

1990年入社

2023/9/27 Page 3

本日のスピーカーは私、安田でございます。  
皆様、よろしくお願いいたします。



## アジェンダ

1. 基本情報
2. 事業紹介
3. 中期経営計画
4. 人本主義
5. 株式情報

本日のアジェンダは、基本情報、事業紹介、中期経営計画、人本主義、株式情報についてご説明いたします。



## 1. 基本情報

それでは早速、基本情報からご説明いたします。



# 1. 基本情報

## 1.1 企業概要

事業	仮設機材の開発、製造、販売及びレンタル 仮設工事の計画、設計、施工、管理、物流	
設立	1969年 6月21日	
資本金	10億 5,214万円	
従業員数	単体：736名 連結：1,266名（2023年3月末時点）	
本社所在地	大阪府大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 タワーB 27階	
代表者	代表取締役会長兼社長 高宮一雅	
拠点	支店・営業所	20カ所
	機材Base	29カ所
	工場	4カ所（国内2・海外2）
グループ会社	14社	



2023/9/27 Page 6

当社は、建設工事現場で利用される足場をはじめとする仮設機材の、開発・製造、販売及びレンタル、機材管理、物流、施工、図面の作成などを一貫して提供している会社です。

仮設機材、足場を通して、社会のインフラを支えている会社です。

設立は1969年6月です。

資本金は10億5千万円、従業員数は連結で1,266名、本社は大阪梅田のグランフロント大阪にございます。

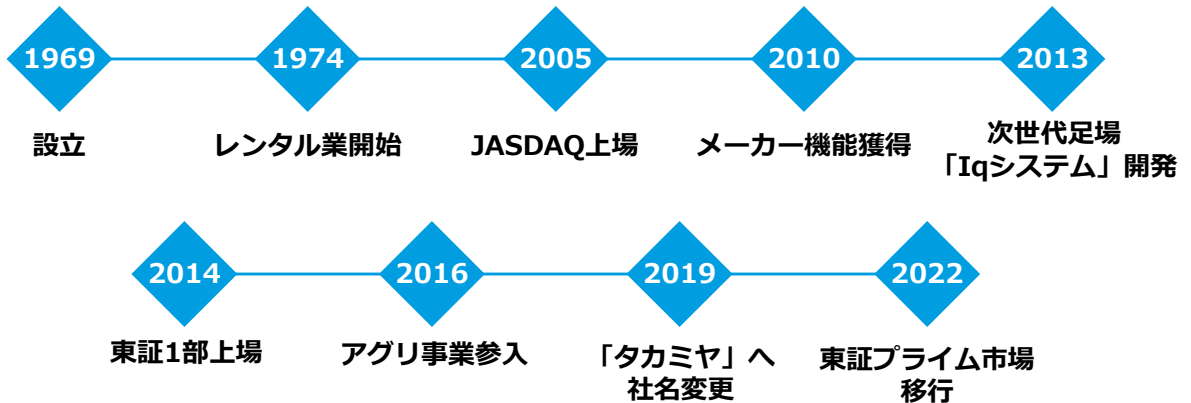
営業、機材、生産拠点が全国にあり、兵庫県内ですと、加東市と神戸市の2カ所に機材置場があり、研究開発拠点が尼崎市にございます。

国内外でグループ会社は14社ございます。



# 1. 基本情報

## 1.2 沿革



2023/9/27 Page 7

当社の沿革でございます。

1969年に設立し、当初は丸太などを建設用資材として販売していました。

そして、1970年の大阪万博開催をきっかけに、周辺地域の建設投資が増加し、工事現場で使用される足場需要が増加したことでレンタル業へと転換しました。

当時、建設業者は万博関連の現場に必要な足場を調達し、使用してはすぐに現地で処分をしていました。

足場は、置場や管理する人手、運搬に費用がかかってしまうためです。

そこで当社は使い終わった足場を買い取り、整備して、別の業者に貸し出す仕組みを考えました。

これがレンタル業の始まりです。

その後、レンタル事業を中心に業容を拡大し、大きな分岐点となったのが、2010年に仮設機材のメーカーをM&Aで子会社化したことです。

2013年にはメーカーとして、主力商品である次世代足場「Iqシステム」を開発しました。

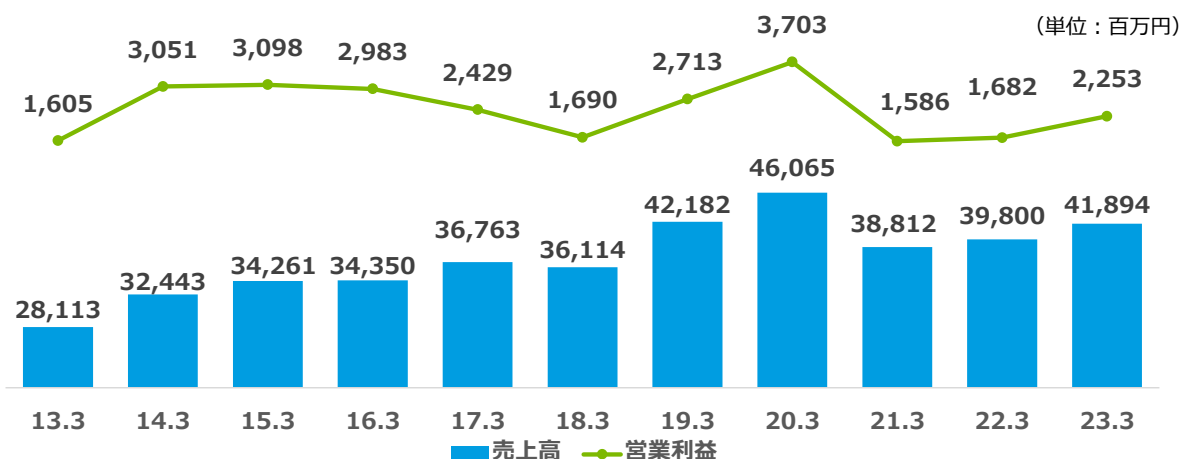
翌2014年に東証1部に上場、2016年に新規事業であるアグリ事業へ参入、2019年には社名を「エスアールジータカミヤ」から現在の「タカミヤ」に変更しました。

そして、昨年2022年に東証プライム市場へ移行しております。



# 1. 基本情報

## 1.3 業績推移



こちらは、業績ハイライトです。

2020年に売上高460億円、営業利益37億円と、過去最高値を記録しました。

ここ数年はコロナ禍で工事の動きが停滞したため、仮設機材の需要が減り、一時的に業績が落ち込んでおりましたが、現状では右肩上がりに回復してきております。

直近2期は、底打ちし増収増益となっております。

進行年度は過去最高益を超える営業利益38億円を目標に掲げております。

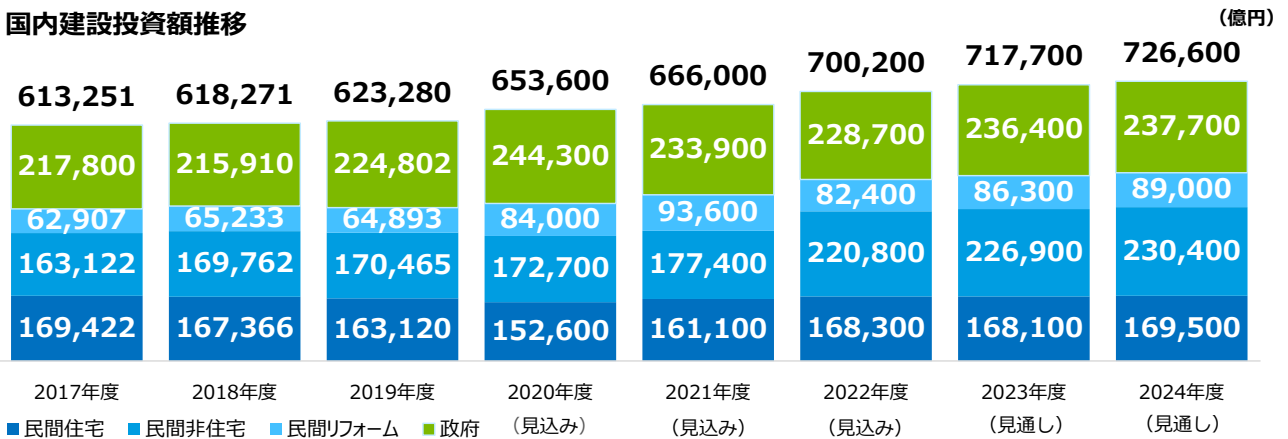




# 1. 基本情報

## 1.4 国内建設投資

### 国内建設投資額推移



ご覧のグラフは建設投資の推移です。

当社を含む建設業界では、建設投資額の影響を大きく受けます。

コロナ禍でも投資額自体は減少しておりませんが、着工遅れなどが目立っております。

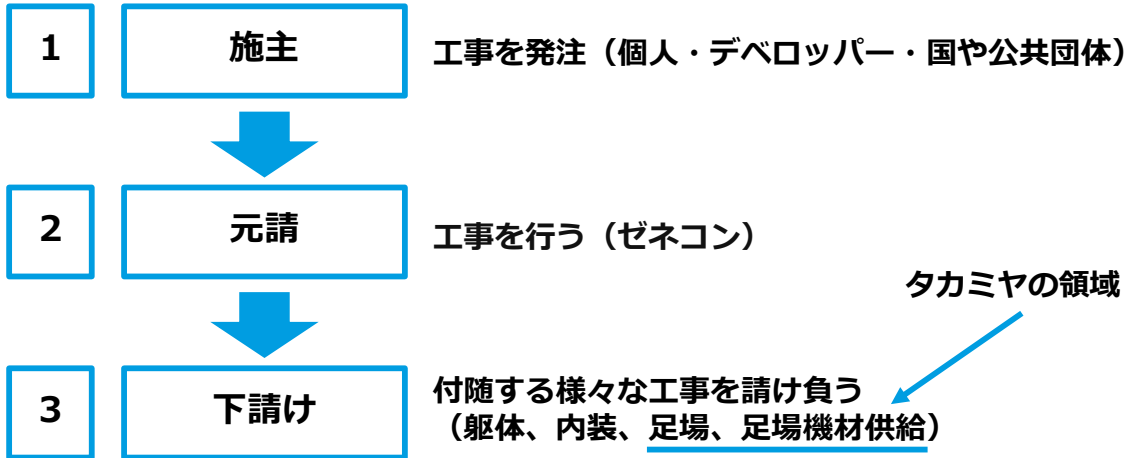
2023年度は72兆円の見通しであり、今後も2025年の大阪万博やIR、各地の高速道路補修工事や整備新幹線など、大型プロジェクトの計画がありますので、工事量は増加していくことが予想されます。



# 1. 基本情報

## 1.5 工事フロー

工事フロー



2023/9/27 Page 10

簡単に工事の流れをご説明いたします。

工事における当社の立ち位置は、下請け業者であり、元請けとなるゼネコンが工事を行うにあたり、足場の供給や組み立て工事が必要となり、当社へ発注いたします。

当社の足場が無ければ工事ができないこともありますので、多くの社会インフラの建設や修繕工事を支える重要な位置づけであると考えております。



# 1. 基本情報

## 1.6 足場説明

### タカミヤの領域

#### 住宅用足場



戸建て住宅の新築やリフォーム  
集合住宅の工事で使用する足場

#### 中高層建築物用足場



学校、病院、ビル、マンション  
物流倉庫など、生活に密着した  
社会インフラの工事に広く利用

#### 支保工材（土木）



主に土木工事に使用され、  
橋桁や梁などの重量物を一時的に  
「支える」ための仮設機材

2023/9/27 Page 11

簡単に足場の説明をいたします。  
足場は大きく3つに分類されます。

戸建て住宅で使用する住宅用足場、マンションや物流倉庫向けの中高層用足場、橋や鉄道、道路などを造る土木工事の際に、重量物を「支える」ための支保工材がございます。

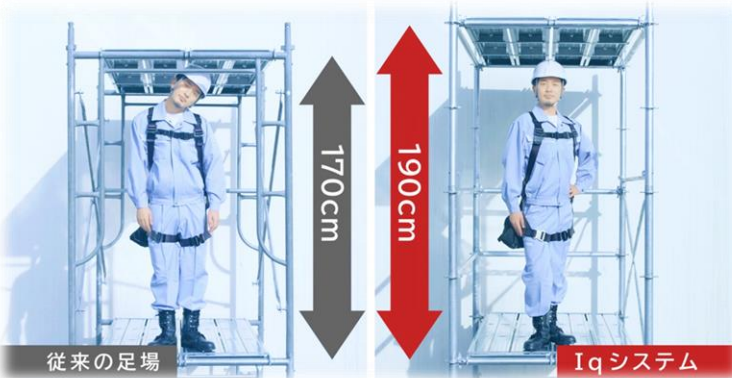
当社はその中でも中高層建築用足場、土木用の支保工材などの仮設機材を中心に取り扱いっております。



## 1. 基本情報

### 1.7 次世代足場「Iqシステム」

#### 足場のレギュレーションに変革を 170センチから190センチへ



## 次世代足場 「Iqシステム」

作業性・施工性・運用性を一新  
段差・隙間レスの床板採用

2023/9/27 Page 12

そして、当社の足場の主力製品が、こちらの次世代足場「Iqシステム」でございます。

従来の足場と比較して作業性などが一新されている画期的な製品で、非常に好評を頂いているものでございます。

この次世代足場の開発に至った経緯は、足場自体が木製から鋼製に変わり、実耐用年数が長くなったことで、買い替え需要が減少しました。

その為、新しい足場の開発が全く進まない状況となりました。

鋼製足場は長いものであれば、30年以上持つものもあり、建設不況の時代には、新たに投資できる会社も少なく、業界では償却済みで老朽化した機材での値引き合戦が長年続いておりました。

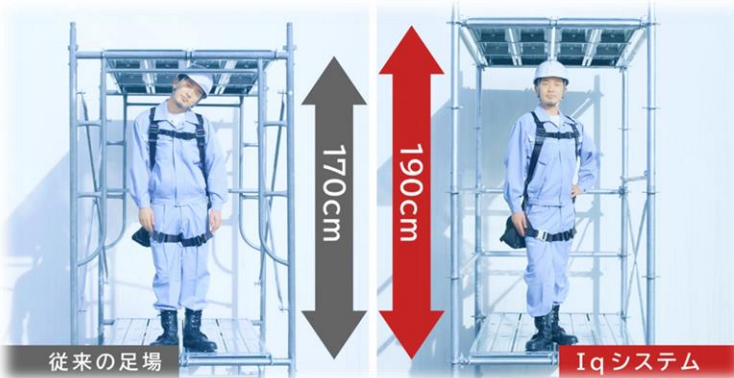
このままでは、業界内の機材ストックが増々老朽化し、安全性が危惧される状況でございました。



## 1. 基本情報

### 1.7 次世代足場「Iqシステム」

足場のレギュレーションに変革を 170センチから190センチへ



## 次世代足場 「Iqシステム」

作業性・施工性・運用性を一新  
段差・隙間レスの床板採用

2023/9/27 Page 13

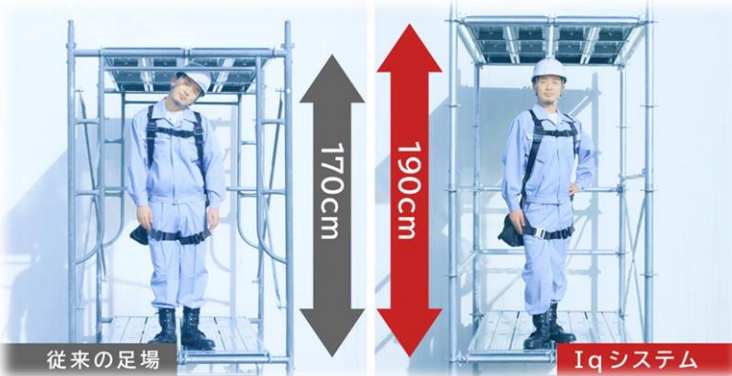
こうした状況に課題意識をもった当社が、業界のメーカーに賛同を呼びかけ、次世代足場の開発に取りくもりましたが、従来の足場を持つ多くの会社からの抵抗があるとして、賛同を得られなかったため、自らメーカーをM & Aし、開発に着手し、次世代足場を市場にリリースしました。



## 1. 基本情報

### 1.7 次世代足場「Iqシステム」

## 足場のレギュレーションに変革を 170センチから190センチへ



## 次世代足場 「Iqシステム」

作業性・施工性・運用性を一新  
段差・隙間レスの床板採用

2023/9/27 Page 14

開発に際して、当社が特に拘ったところが、2点ございます。

1つは職人の作業負担を軽減するために、高さを20cm高くし、170cmから190cmにした点です。

開発当時、普及していた足場の多くは枠組み足場と言われるもので、高さが170センチでした。

ここ数十年の間に、平均身長も高くなり、170センチでは、多くの職人が腰を屈めないと作業ができません。

快適に作業できるように、190センチの高さの足場を作りました。

次に2点目ですが、安全性向上のための隙間や段差のない作業床にしたことです。

建設工事現場では毎年、多くの事故が発生しています。

段差や隙間につまづいて、作業者が足場から落下したり、工具などを隙間から落としてしまうという事故も多くあります。

隙間・段差を無くすことで、これらの事故に繋がるリスクを低減することができます。

より、安全かつ快適に作業できる新たな足場として、次世代足場「Iqシステム」を開発しました。



## 1. 基本情報

### 1.7 次世代足場「Iqシステム」

支柱1本当たり最大重量低減

**2**kg

置場の省スペース化

約**50**%

運搬トラック台数削減

約**30**%

組み上げ段数減少  
(従来足場の10段分の高さ比較)

**9**段

2023/9/27 Page 15

その他にも、従来の足場とは異なる特徴を持っています。

柱1本当たりの重さを最大で2キロ低減しており、部材もコンパクトに収容できるため、置場を約50%減少させることができます。

軽量化の効果と合わせて、運搬効率も向上しております。

また、高さを20センチ高くしたことで、組上段数を減らすことができます。

この次世代足場の評価は年々高まっており、現在は、特に安全性を重視する大手ゼネコンからの要望が非常に多くなっております。

また、2024年問題で、建設業界でも労働時間に制約がかかる中で、当社の足場は作業効率を大幅にアップさせるため、更に需要が高まると予想しております。



## 1. 基本情報

1.7 次世代足場「Iqシステム」

### Iqシステムの普及（2017年3月期比較）



2023/9/27 Page 16

そのIqシステムの普及状況ですが、累計で255億円の販売額、475社に採用を頂いております。

普及平米数は987万㎡であり、甲子園球場256個分になります。

年々、Iq保有ユーザーは増加しております。

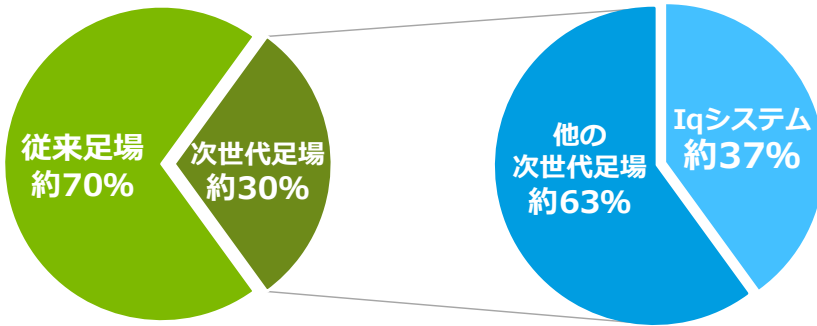




## 1. 基本情報

### 1.7 次世代足場「Iqシステム」

#### 足場市場におけるIqシステムのシェア（面積）



## 足場全体シェア

約**11%**

※当社調べ

2023/9/27 Page 17

その結果、シェアも拡大しております。

従来の足場に対して、他社含む次世代足場のシェアは約30%であり、その30%の内、当社のIqシステムが約37%を占めております。

従来含む足場シェア全体で見ると、約11%を占めております。

まだまだ、従来足場からの切り替えが期待できる状況です。



## 2. 事業紹介

2023/9/27 Page 18

続きますして事業セグメントの紹介でございます。



## 2. 事業紹介

### 2.1 事業概要



#### 販売事業 28.1%

次世代足場「Iqシステム」などの仮設機材を開発・製造・販売  
金属加工技術を活かした他分野へ展開

#### レンタル事業 52.7%

建築、橋梁、高層建物、トンネル、地下などのあらゆる工事現場で使用する足場  
災害時における足場、支保工に軽仮設材のレンタルサービスを提供

#### 海外事業 19.2%

ASEAN地域を事業エリアとして、フィリピン・ベトナム・韓国で事業を展開  
仮設機材をはじめとする製品の製造、レンタル、販売

2023/9/27 Page 19

当社の事業セグメントは、販売、レンタル、海外の3つの事業がございます。

売上高を占める割合は、販売が28.1%、レンタルが52.7%、海外が19.2%となっております。

これから順にご紹介いたします。



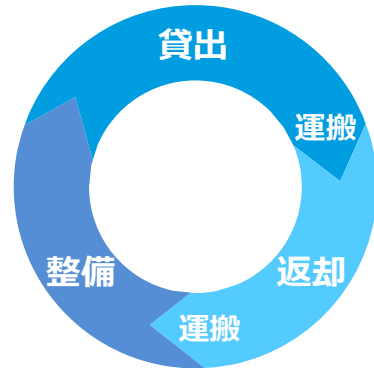
## 2. 事業紹介

### 2.2 レンタル事業

#### 建築、土木工事現場で使用する仮設機材のレンタルサービスを提供

##### 強み

- ◆ 新品換算 **約700億円**の仮設機材
- ◆ **50年以上**に渡るレンタル実績
- ◆ **全国29カ所**の機材拠点からレンタル可能
- ◆ 全国施工ネットワークによる組立請負
- ◆ **BIMCIM**や**3DCAD**を用いた図面作成



2023/9/27 Page 20

まずは、レンタル事業からご紹介いたします。

仮設機材をゼネコンや鳶会社などにレンタルしています。

お客様に機材を貸出し、返却された機材を整備して、次のお客様に貸し出すというサイクルになります。

レンタル事業の強みは、まずは物量です。

新品換算で約700億円分の仮設機材を保有していますので、全国のあらゆる大型現場に対応が可能です。

次に信頼性です。

50年以上に渡るレンタル実績により大手ゼネコン様との取引が多く、信頼を得ております。

また、全国29カ所の物流拠点から、あらゆる現場へ機材をお届けできる体制です。

また機材のレンタルのみではなく、現場にお届けした機材の組み立てにも対応しております。



技術面では、BIMやCIM、3DCADを用いた足場組立図面の作成が可能である点など、一気通貫したサービス提供が強みであります。



## 2. 事業紹介

### 2.2 レンタル事業

対応分野は「建築から土木」「地下から超高層」「新築から維持修繕」

建築	橋梁	トンネル・地下	プラント	斜面防災
				
<ul style="list-style-type: none"><li>◆ビル</li><li>◆マンション</li><li>◆学校</li><li>◆病院</li><li>◆倉庫</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>◆高速道路</li><li>◆鉄道</li><li>◆高架橋</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>◆地下鉄</li><li>◆パイプライン</li><li>◆共同溝</li><li>◆シールド</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>◆処理場</li><li>◆焼却炉</li><li>◆プラント</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>◆防災工事</li></ul>

2023/9/27 Page 21

当社の機材は、ご覧の通り、様々な分野で活躍しております。

ビルやマンション、病院、物流倉庫などの建築分野、高速道路や鉄道、高架橋などの橋梁工事などの土木分野、そして、地下鉄やパイプラインなどの地下工事、その他、プラント分野など建築～土木、地下～超高層までのあらゆる工事に対応しております。

また、当社は多くの災害復旧工事にも機材の提供を行っております。

近年、社会インフラの老朽化が問題となっており、高度経済成長期に建設された新幹線、高速道路、鉄道などの主要インフラが建設後50年を経過し、老朽化が進んでおります。

こうしたインフラの再整備工事にも当社機材が多く採用されています。



## 2. 事業紹介

### 2.3 販売事業

次世代足場「Iqシステム」などの仮設機材を開発・製造・販売 ⇒ 金属加工技術を活かして他分野へ展開  
現場のニーズを具現化した製品を開発でき、レンタル事業を行っているため低コストで安定生産が可能

建設工事用仮設機材		アグリ事業	PV事業
			
次世代足場 「Iqシステム」	パネル式吊り棚足場 「スパイダーパネル」	高機能グリーンハウス 「G-Castle」	ソーラーカーポート 「POGERO」
建設会社やインフラ整備会社へ		農家へ（個人/法人）	企業へ

2023/9/27 Page 22

次に販売事業です。

「Iqシステム」などの仮設機材を開発・製造し、ゼネコンやレンタル会社、  
鳶施工会社に販売しております。

メーカー機能として、大手ゼネコン様との共同開発なども行っております。

販売製品としては、建設工事用の足場がメインではございますが、金属加工  
技術を活かして他分野へも展開しています。

農業用のグリーンハウス、太陽光発電が可能なカーポートなど、現場や顧客  
の要望を具現化した製品を低コストで安定生産することができます。



## 2. 事業紹介

### 2.4 海外事業

**ASEAN地域を事業エリアとして、フィリピン・韓国・ベトナムの3カ国で事業を展開  
仮設機材をはじめとする製品の製造、レンタル、販売**

フィリピン	韓国	ベトナム
		
DIMENSION-ALL INC. 仮設機材の販売・レンタル	ホリー코리아(株) 仮設機材の製造・販売・レンタル	ホリーベトナム(有) 仮設機材の製造・販売
現地の建設会社へ	現地の建設会社と周辺諸国へ	タカミヤへ

2023/9/27 Page 23

最後に海外事業です。

ASEAN地域を事業エリアとして、フィリピン・韓国・ベトナムの3カ国で事業を展開しており、仮設機材をはじめとする製品の製造、レンタル、販売を、ローカル企業や周辺諸国へ行っています。

フィリピンは、営業拠点として、韓国は、営業拠点と製造拠点、ベトナムは製造拠点を有しております。

パンデミックの影響で、一時的に事業活動を制限されましたが、各国で事業を再開することができています。

フィリピンでは、経済成長の最中、インフラの建築が進むことが予想され、JAIC案件を中心に工事量は増加すると見込んでおります。



### 3. 中期経営計画

2023/9/27 Page 24

つづきまして、進行中の中期経営計画についてご説明いたします。





### 3. 中期経営計画

#### 3.1 経営ビジョン&利益目標

#### 経営ビジョン

トランスフォームにより新たな価値を創造し、  
お客様のパートナー企業となることで、  
持続的な成長を目指す

#### 利益目標

2024年3月期 **38** 億円  
連結営業利益  
(2021年3月期実績 15億円)

2023/9/27 Page 25

経営ビジョンは、トランスフォームにより新たな価値を創造し、お客様のパートナー企業となることで、持続的な成長を目指すとしており、  
利益目標は今年度が中期経営計画の最終年度であり、連結営業利益38億円、過去最高益を目指します。



### 3. 中期経営計画

#### 3.2 タカミヤプラットフォーム

# Takamiya Platform DX

Permanent Partner Relationship, realized with Digital Transformation

2023/9/27 Page 26

この中期経営計画を実現に導くのが「タカミヤプラットフォーム」です。  
タカミヤプラットフォームとは、外部環境の変化や価格競争に左右される、これまでのフロービジネスから脱却し、安定的かつ、収益性の高いストックビジネスへ転換するための新たな取り組みです。

建設業界では工事量の増減による競合が業績に大きく影響します。

このコロナ禍では、それが特に顕著に現れました。

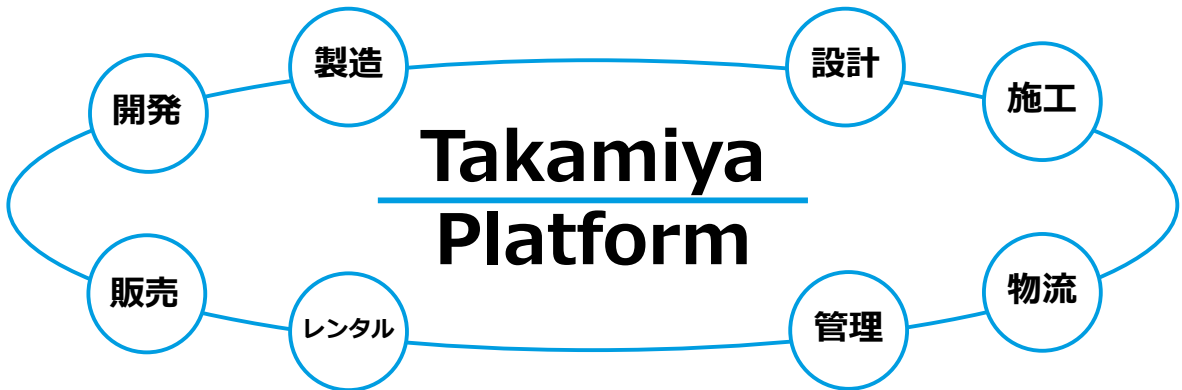
外部環境に左右されないストックビジネスモデルが、このプラットフォーム構想であり、当社の新たなビジネスモデルです。



### 3. 中期経営計画

#### 3.2 タカミヤプラットフォーム

建設業界の課題を解決し、仮設機材業界のインフラを担う「プラットフォーム」を開発



2023/9/27 Page 27

では、プラットフォーム事業について詳しく説明します。

まずハードであるIqシステムを業界のスタンダードとすべく普及させます。

そしてそのハードに対して魅力的なサービスを付加していくことで、プラットフォーム利用者数の拡大を図ります。

例えば、スマートフォンを持つことで、便利な機能が使えるような世界観を仮設業界で構築したいと考えております。

お客様はIqシステムを購入しプラットフォームを利用することで、便利で、安全なだけでなく、様々な課題が解決でき収益性が良くなります。

当社は、建設業界の課題を解決し、仮設業界のインフラを担うプラットフォームを構築することを目指しております。

サービスの開発にあたっては、当社の持つ機能を結集し、新たなシステムやDXを活用することで、開発を進めているところでございます。



### 3. 中期経営計画

#### 3.3 メインサービス

##### プラットフォームのメインサービス



- ◆ 製品の整備は徹底して行うため、品質価値は保証
- ◆ 不足分はレンタル or 購入で追加
- ◆ 置場や管理・整備にかかる費用を削減（入出庫にかかる費用は発生）

➡ **事業エリア拡大**

2023/9/27 Page 28

こちらはプラットフォームの主要サービスです。

購入したIqシステムを当社に預けていただくことで、管理や整備を依頼することができます。

それだけではなく、銀行のATMのように、当社の全国の物流拠点から自由に機材を引き出して利用することができます。

そのため、事業エリアを拡大することができます。

購入分以上の量が必要になる場合は、その場で追加購入やレンタルすることが可能です。

利用者は、置場や機材の整備機械、管理人員にかかる固定コストを削減することができ、資産効率を高め、管理運用の合理化を図ることができます。



### 3. 中期経営計画

#### 3.4 OPERA



#### プラットフォームポータル「OPERA」

- ◆ 全プラットフォームサービスの利用・連携
- ◆ 電話とFAXによる受発注をWebで
- ◆ 24時間365日オーダー可能
- ◆ 配送車両の予約が可能
- ◆ 施工職人のマッチングが可能 etc.

2023/9/27 Page 29

そして、主要サービスを含むプラットフォームの利用はOPERAというシステムから可能となります。

この仕組みは、レンタル製品の発注をWebで行える機能があり、そのほか便利な機能をたくさん備えております。

以前の発注スタイルは、電話やFAXが多く、紙ベースによるアナログ業務が非常に多い業界ですが、当社は、今後もデジタルで一元管理できるシステムを提供し、便利で効率的なサービスをこのOPERAに拡充していく予定です。

現在、このOPERAでのWeb受注は、全体の20%程度となっており、今後、デジタル化とともに普及が進んでいく予定です。



### 3. 中期経営計画

#### 3.5 Iq - Bid

## Iqシステムの「取引価格＝資産価値」が可視化されたデジタル市場「Iq - Bid」



→ **機材ごとの保有状況が確認でき、余剰材の売却、必要分の追加購入を容易に実現  
余計な機材を保有することなく、無駄な投資が無くなり、必要なものだけに投資**

2023/9/27 Page 30

そして、当社のプラットフォームでは、購入していただいたIqシステムを利用者間で自由に売買できる「IqBid」というデジタル市場を提供しています

。

本来、足場製品を購入し、利用し続けていけば、その資産価値は劣化とともに下がります。

しかし、セカンダリー市場ができることで、取引価格が可視化され、市場価値が生まれます。

出品価格や購入価格は利用者自身が決めることができ、保有している機材の利用状況を見ながら売買ができるため、使用頻度の少ない機材の売却、使用頻度が多い機材の追加購入をデジタルで簡単に行うことができます。

そのため、余計な機材を保有することなく、無駄な投資が無くなり、必要なものだけに投資をすることができます。

この市場を作ったことにより、Iqシステムを購入し安心してプラットフォームに入って頂くことができます。




### 3. 中期経営計画

#### 3.6 高付加価値サービス

#### プラットフォームが提供するサービス

- ◆ 当社の開発・製造機能を活用した共同製品開発
- ◆ BIM・CIM対応
- ◆ 3Dによる仮設図面設計
- ◆ 自動作図ツール「RABOT」によるスピーディーな作図
- ◆ 全国組立工事ネットワーク etc.

 **プラットフォームでは当社の事業基盤をフル活用**

2023/9/27 Page 31

プラットフォームが提供するサービスは他にも多数あります。

当社の開発力を利用したオプション部材などの共同開発、BIM/CIMでの対応、図面作成時間を大幅に短縮する、仮設機材組立図面を自動で行うシステム、全国で協力業者による組み立て工事を依頼することもできる等、当社の事業基盤を存分に活用することができます。



### 3. 中期経営計画

#### 3.7 Takamiya Lab. West

#### プラットフォームが提供する付加価値・安全の研究開発拠点「Takamiya Lab. West」



- ◆ 製品やサービスの開発
- ◆ 機材管理や整備のデータ化
- ◆ 製品展示や施工体験
- ◆ 安全講習

2023/9/27 Page 32

そして、当社が提供するサービスと製品の安全性と利便性を追求するのが、兵庫県尼崎市に建設した研究開発拠点「Takamiya Lab. West」でございます。

ここでは、新製品や新サービスの開発、最高安全基準による機材の整備と管理、足場組立体験や製品の実物展示により、実際に製品に触れることができます。

また、足場作業における安全講習などの様々な教育や研修など、当社の製品とサービスの利用者の「便利」を拡大する取り組みを行っております。

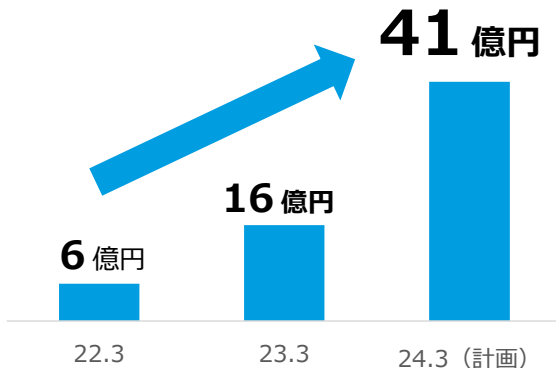




### 3. 中期経営計画

#### 3.8 タカミヤプラットフォーム関連売上

#### プラットフォーム関連売上



24年3月期 (計画)

**41 億円** (+156.3%)

※プラットフォーム関連売上にはプラットフォーム利用を前提とするIqシステムの購入、レンタルなどを含む。

2023/9/27 Page 33

そのプラットフォーム関連の売上高は年々増加しています。

進行年度は前年対比で156%アップの41億円を計画しており、プラットフォームの普及、拡大を推進することで、中期経営計画の実現を目指してまいります。



## 4. 人本主義

2023/9/27 Page 34

つづきまして、当社が掲げております人本主義についてご説明いたします。



## 4. 人本主義

### 4.1 社是・経営理念

#### 社是



#### 経営理念

##### 一、己を愛する

私達はこの世に生を受け、己の人生と云うものがある訳です。当然自分自身今日より明日へと高めることが必要であり、一期一会の人生を己に言い聞かせ、甘える事なくおごる事なく生きていくことこそ、己を愛することである。

##### 一、人を愛する

私達の父母、兄弟姉妹等、すべての家族に対する思いやりは、愛の原点であり、友人に、隣人に、そして世界の人々に、この思いやりと互いが幸福にと願う心、その思いやりが人を愛することである。

##### 一、会社を愛する

会社は生まれながらにして地域社会の一員であり、私達を育ててくれた地域社会に、国家に、そして世界に感謝し、それぞれに私達は力の限り奉仕しよう。人の集まるところ必ず集団が自然発生する。その一つに企業集団があり、その企業を通じて地域社会に、国家に、世界に奉仕することがすなわち会社を愛することである。

2023/9/27 Page 35

こちらは社是と経営理念でございます。

当社の社是は「愛」です。

経営理念は「己を愛する」、「人を愛する」、「会社を愛する」です。

己を愛するという自分への自己開発意欲。

家族や会社の仲間への思いやり。

そこが原点となり、会社を通じて社会に貢献するという思い。

私達はそれを、企業成長の原動力にしたいと考えました。



## 4. 人本主義

### 4.2 多様な働き方&人事制度

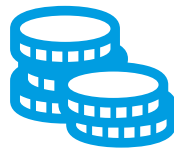
社是である「愛」のもと「人材が企業力の本質である」という人本主義を経営哲学として掲げ、人材は極めて重要な資産と認識し、持続的な企業価値向上を実現するための源泉と考えております。

#### 多様な働き方&人事制度



#### スターキャリア制度

自律的なキャリア形成を目的とした  
JOBローテーション制度



#### コイン制度

他部署の業務を手伝い、  
報酬化することができる



#### DXインセンティブ

D X人材の育成を目的とした  
インセンティブ制度

2023/9/27 Page 36

当社では、社是である「愛」のもと「人材が企業力の本質である」という人本主義を経営哲学として掲げ、人材は極めて重要な資産と認識し、持続的な企業価値向上を実現するための源泉であると考えております。

そのため、従業員には様々な働き方や人事制度を提供しています。

リモートワークや勤務時間を自身で調整することができるフレックスタイム制はもちろん、自発、自律的なキャリア形成の推進を目的としたJOBローテーション制度の「スターキャリア制度」、他部署の業務を手伝い、報酬化することができる社内副業制度の「コイン制度」、D X人材の育成を目的としたインセンティブ制度なども導入しています。



## 4. 人本主義

### 4.3 支援制度&手当&休暇

#### 少子高齢化への取り組み

若年者結婚支援制度	34歳未満で結婚した従業員に対し、 <b>3~5万円</b> の手当を毎月支給
結婚祝金制度	結婚資金として祝金 <b>30~50万円</b> を支給
社会貢献手当（子供手当）	34歳未満の従業員に対して子供一人当たり <b>3~5万円</b> を毎月支給

#### 有給休暇取得促進への取り組み / ワークライフバランス

結婚記念日休暇	結婚記念日を含めた2日間の休暇
バースデー休暇	誕生日当日の休暇
リフレッシュ休暇 (リフレッシュ 5&10)	25・35・45・55歳の誕生日を含む週の 平日5日間+前後の土日で合計9日間の休暇 30・40・50・60歳の誕生日から各1・2・3・4週間の休暇 ※申請により旅費を最大30万円支給

2023/9/27 Page 37

その他、各種手当、休暇制度です。

若年者結婚支援制度ですが、34歳未満で結婚した社員には、月3~5万円の手当が支給されます。

社会貢献手当は34歳未満の従業員に対して、子供一人当たり3~5万円を支給します。

よって34歳未満で結婚し、子供が2人いる従業員は最大で毎月15万円が支給されます。

その他、結婚祝金制度など、社会問題などに対する企業としての支援を独自に行っており、社員のライフステージに併せて様々な手当を支給する取り組みを行っております。

また、ワークライフバランスを充実させるため、結婚記念日や誕生日が休暇となるだけでなく、節目となる誕生日では1週間から、最大で4週間の休暇を取得することができるリフレッシュ休暇制度がございます。

40歳で2週間、50歳で3週間、60歳で4週間の休みが取れます。

また、リフレッシュ休暇中に旅行に行く際には、最大で30万円の旅費が会社から出ます。

このように、従業員には、働き方改革を推進し、働きやすい環境や制度を提供しております。



## 5. 株式情報

最後に株式情報でございます。

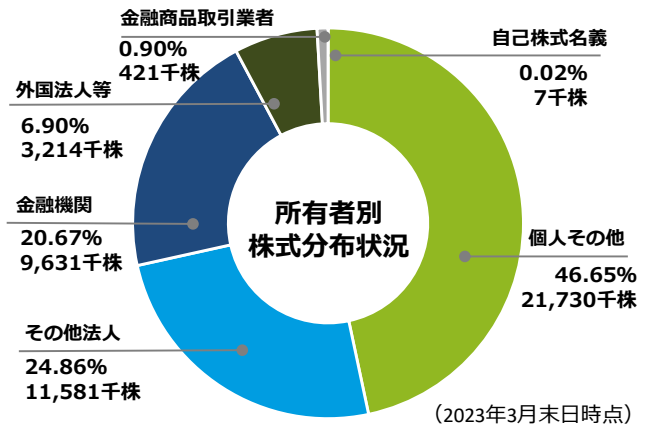


## 5. 株式情報

### 5.1 基本情報

#### 株式情報

上場市場	東京証券取引所プライム市場
証券コード	2445
単元株数	100株
発行済株式数	46,585,600株
PER	13.74倍 (2023年3月末日時点)
PBR	1.01倍 (2023年3月末日時点)



2023/9/27 Page 39

基本的な情報に関しましては、ご覧の通りでございます。

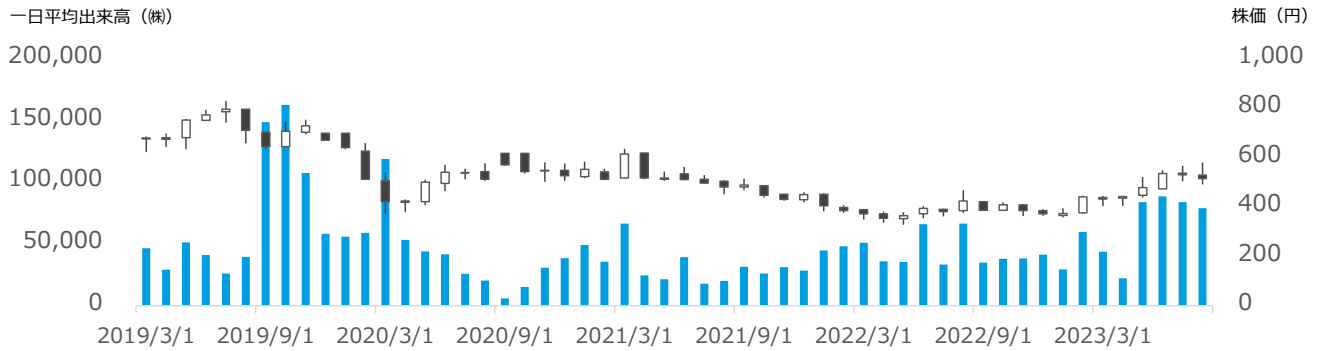
外国法人等の保有比率が6.9%、個人投資家様の保有比率は46.65%となっております。



## 5. 株式情報

### 5.2 株価推移

2023年8月末時点 株価 **514円** 1日平均売買高 **78,873株**



2023/9/27 Page 40

ご覧いただいているグラフは株価の推移になります。

直近では5月の決算発表時に株価が大きく反応しています。

8月末時点の株価は514円、8月の1日平均売買高は78,873株となっております

。



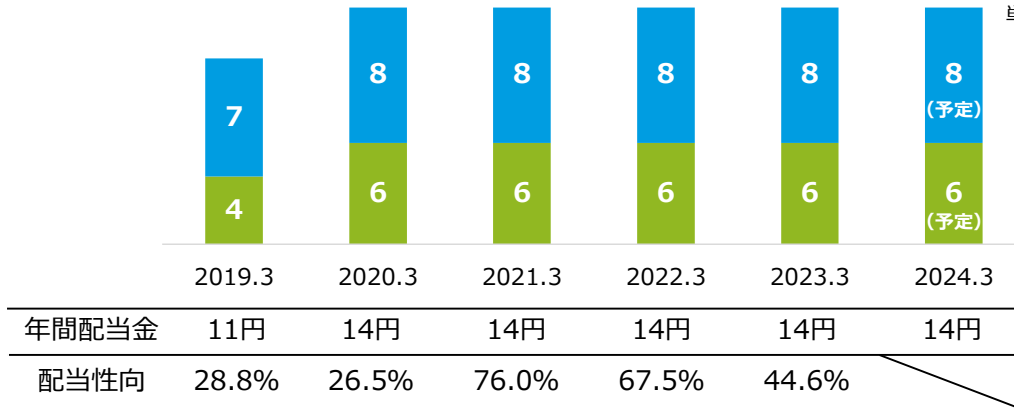


## 5. 株式情報

### 5.3 配当金

#### 株主還元方針・・・事業成長による企業価値の向上&現状の配当水準に応じた配当還元を行う

単位：円



2023/9/27 Page 41

次に配当でございます。

進行期は年間14円の配当を予定しております。

配当性向の目標は、設定しておりませんが、昨年は44.6%となっております。

今後も安定した配当を継続してまいります。



## 5. 株式情報

### 5.4 プライム市場上場維持基準適合状況

#### プライム市場 上場維持基準の適合状況

	上場維持基準	当社	適合状況
流通株式数 (単位)	20,000単位	203,175単位	○
流通株式時価総額 (億円)	100億円	82億円	×
流通株式比率 (%)	35.0%	43.6%	○
1日平均売買代金 (億円)	2,000万円	1,800万円	×

2023/9/27 Page 42

最後にプライム市場への上場維持基準への適合状況についてでございます。  
現在、上場維持基準の適合に向け、計画書を提出し、達成に向け鋭意対策を  
実施中でございます。



## 5. 株式情報

### 5.4 プライム市場上場維持基準適合状況

抵触項目の進捗状況・・・8月末時点で抵触していた両項目は基準に適合

	前回判定時		直近の状況	上場維持基準
流通株式時価総額	82億円	× →	105億円(※1) ○	100億円
1日平均売買代金	1,800万円	× →	3,001万円(※2) ○	2,000万円

(※1) 流通株式時価総額 = 519.18円 (6月～8月平均株価) × 203,175単位 (流通株式数)

(※2) 1日平均売買代金 1月～8月末の平均売買代金

2023/9/27 Page 43

基準日時点では、「流通株式時価総額」と「1日の平均売買代金」が基準を下回っておりますが、現在の株価で流通株式時価総額の基準をクリアしており、1日平均売買代金に関しましても、順調に経過しております。

今後も、中期計画の達成、IRの強化などにより、企業価値の向上に努めてまいります。



**ご清聴いただきまして、誠にありがとうございました。**

2023/9/27 Page 44

以上、当社の会社説明でございました。  
ご清聴ありがとうございました。

